

平成 27 年 7 月 31 日

ZAPPALLAS

各 位

会 社 名 株式会社ザッパラス
代表者名 代表取締役会長兼社長 川嶋 真理
(コード番号 3770 東証第一部)
問合せ先 取締役 小林 真人
T E L 03-6434-1036(代表)

子会社の異動(株式譲渡)及び特別利益の発生に関するお知らせ

当社は平成 27 年 7 月 31 日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社 caramo(以下、「caramo」という。)の株式の全てをトランス・コスモス株式会社に譲渡することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。(caramo については平成 27 年 7 月 17 日付開示の「会社分割(簡易新設分割)による子会社の設立に関するお知らせ」をご参照ください。)

また本株式譲渡に伴い平成 28 年 4 月期第 2 四半期において特別利益を計上する見込みとなりましたので、合わせてお知らせいたします。なお本株式譲渡により caramo は当社の連結子会社から除外されます。

記

1. 株式譲渡の理由

当社の連結子会社である caramo は、「日本」をテーマにした逸品に出会えるオンラインショッピングサイト「藤巻百貨店」を運営しており、高付加価値かつ独自性の高い商品を取り扱うことを基本方針とした Eコマース事業を営んでおります。「藤巻百貨店」につきましては順調に売上を伸ばしており継続的に利益を生み出せる規模へと拡大しているものの、現在当社は中核事業であるコンテンツ事業に経営資源を集中させていくという方針のもとグループ戦略の見直しを図っている状況にあります。このような中、caramo につきましては当社グループを離れトランス・コスモス株式会社グループの一員となることにより、さらなる事業の拡大・発展を目指していくことが最適であると判断し、本件譲渡を決定するに至りました。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	株式会社 caramo
(2) 所在地	東京都渋谷区渋谷 2 丁目 12 番 19 号 東建インターナショナルビル
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 中村 亮
(4) 主な事業内容	オンラインショッピングサイト「藤巻百貨店」の運営
(5) 資本金	10 百万円
(6) 設立年月日	平成 27 年 8 月 6 日
(7) 発行済株式数	1,000 株
(8) 決算期	12 月 31 日

(9) 従業員数	10名(予定)	
(10) 大株主および持株比率	株式会社ザッパラス 100%	
(11) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社が発行済株式の全株式を保有しております。
	人的関係	当社の取締役2名が取締役を兼務しております。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	当社の連結子会社であります。

3. 株式譲渡相手先の概要

(1) 名称	トランス・コスモス株式会社	
(2) 所在地	東京都渋谷区渋谷三丁目 25 番 18 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長兼 COO 奥田昌孝	
(4) 主な事業内容	ビジネス・プロセス・アウトソーシング事業	
(5) 資本金	29,065 百万円	
(6) 設立年月日	昭和 60 年6月 18 日	
(7) 発行済株式数	48,794,046 株	
(8) 決算期	3 月 31 日	
(9) 従業員数	グループ:15,995名(国内:9,734名、海外:6,261名) 本体:8,432名(平成27年3月末現在)	
(10) 大株主および持株比率	奥田耕己 15.37% 奥田昌孝 12.11% 公益財団法人奥田育英会 3.59% 平井美穂子 3.00% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 2.83%	
(11) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 譲渡株式数、譲渡価格及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	1,000 株(議決権の数 1,000 個、議決権所有割合 100.0%)
(2) 譲渡株式数	1,000 株(議決権の数 1,000 個)
(3) 譲渡価格	258 百万円
(4) 異動後の株式数	0株(議決権の数0個、議決権所有割合 0.0%)

5. 日程

(1) 取締役会決議日	平成 27 年 7 月 31 日
(2) 株式譲渡契約締結日	平成 27 年 8 月 19 日(予定)
(3) 株式譲渡日	平成 27 年 10 月 1 日(予定)

6. 特別利益の発生について

当該株式譲渡に伴い、平成 28 年 4 月期第 2 四半期の連結財務諸表において諸経費を差し引いた 235 百万円の特別利益を計上する予定です。

7. 今後の見通し

本件が当社の連結業績に与える影響等につきましては、その他の事象による影響も含め現在精査中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合には適時に開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想(平成 27 年 6 月 12 日公表分)及び前期連結実績 (単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
平成 28 年 4 月期 連結業績予想	百万円 7,450	百万円 0	百万円 -	百万円 -
平成 27 年 4 月期 連結実績	7,581	516	728	242

(注) 当社は年次での業務管理を行っているため、第 2 四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。また、経常利益、当期純利益、1 株当たり当期純利益の業績予想につきましては、営業利益の業績予想を 0 円としていることから為替の変動が与える影響が大きく、現時点で合理的な算定が困難であるため記載しておりません。

以 上